

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |              |    |               |
|----------------|--------------|----|---------------|
| ○事業所名          | 夢門塾 神石高原町    |    |               |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 12月 1日 |    | 2025年 12月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)       | 34 | (回答者数) 23     |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 12月 1日 |    | 2025年 12月 30日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)       | 7  | (回答者数) 7      |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 10日 |    |               |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等                         |
|---|---|--|--|
| 1 | 学習室・運動室・クールダウン室を分けた構造化環境が整っており、コーナーガード設置や空間の使い分けなど、安全面と分かりやすさに配慮された環境づくりができています。保護者評価でも「分かりやすい環境」「清潔で心地よい」と高評価を得ています。 | 申し送りノートや朝礼・終礼を活用し、気づきや変化を職員間で共有しています。PDCAを意識した運営ができています。       | 非常勤職員も含めたカンファレンス機会を増やし、支援の方向性共有を強化します。 |
| 2 | 個別支援計画の作成・モニタリング・見直しが丁寧に行われており、子どもの特性や保護者ニーズを踏まえた支援が提供されています。職員間での情報共有やカンファレンスも実施され、チーム支援体制が機能しています。                  | 隣接する放課後児童クラブとの日常的な交流や合同行事を行い、地域の子ども同士の関わりを自然に生み出しています。         | 家族参加型研修やペアレントトレーニングの機会を増やします。          |
| 3 | 保護者満足度が非常に高く、「安心して通えている」「活動報告が丁寧」「子どもが楽しみにしている」といった声が多く見られます。コドモンでの写真付き報告や夢通信の発行など、情報発信が充実しています。                      | 安全管理体制が非常に充実しており、BCP・各種マニュアル整備・定期訓練・ヒヤリハット共有・虐待防止研修などを継続しています。 | 地域イベント（来見館ゆめ祭り等）を継続し、地域に開かれた運営を進めます。   |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                      | 事業所として考えている課題の要因等                | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等              |
|---|---|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 利用人数や職員配置によって、個別対応に十分な時間が取れない場合があります。保護者からも「人員に余裕があれば」との声があります。 | 地域特性や人員確保の難しさが影響しています。           | シフト調整や役割分担を工夫し、安心できる配置体制づくりを進めます。 |
| 2 | 外部評価や専門機関からのスーパーバイズ機会がまだ少ない状況です。                                | 非常勤職員との情報共有や会議参加機会に差があります。       | 外部研修や関係機関連携を増やし、専門性を高めます。         |
| 3 | 父母会・家族交流機会について、参加率向上が課題です。                                      | 保護者は送迎利用が多く、他保護者と交流する機会が少ない状況です。 | 家族会の開催日程や案内方法を見直し、参加しやすい機会を作ります。  |